交通安全ニュース

Monthly Report

2019年10月号

特集
危険回避行動について

最近、あおり運転が大きな社会問題になっています。あおり運転は、大変危険で許しがたい行為ですが、街中では、あおり運転以外にも多くの迷惑な運転行動を目にします。
運転者には、自分が危険な運転を行わないことは基より、危険な状況に直面した時にも冷静に対処することが強く求められています。

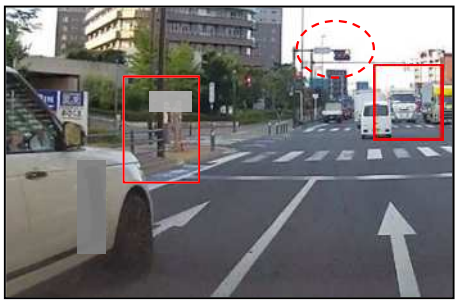
1. 赤信号での交差点進入（一般道路）

▌もし、対向右折車が直進車を見落していたら･･･

右の写真では、白色車両が黄色信号で止まれる状況にあるにも関わらず、スピードを上げて直進し、交差点進入時には赤信号になり、対向大型車の右折を妨害しているのが分かります。もし、歩行者が飛び出していたら、右折車が強引に右折していたら、重大事故になっていたかもしれません。
では、なぜ、白色車両は、このような危険な運転をしたのでしょうか。

▌リスクテイキング行動

運転者が「リスクを取ろうとする行動をリスクテイキング行動」と呼び、「事故が起こるのは個人のリスクテイキング行動が影響して」います。※
このリスクテイキング行動は、大きく次の2つに分けられると考えます。
①見落しなどから、危険を分からずやってしまった。
②危険を分かっていたが、意図してやった。
この内、②については、リスクテイキング行動の傾向が強い運転者であり、習慣的に、危険な行動を繰り返すことから「リスクテイキング症候群」※ともいわれています。
安全運転に大事なことは、このような運転者がいることを想定して運転すること、遭遇した際には、冷静に対処することです。



①信号が赤色になり、歩行者もいますが･･･

②赤信号でもそのまま通過！

③通過後、対向車がようやく右折

※ 蓮花一己．向井希宏．交通心理学．改訂版． 一般財団法人放送大学振興会，2017，254p，p.21,107

SOMPO ホールディングス
損保ジャパン日本興亜

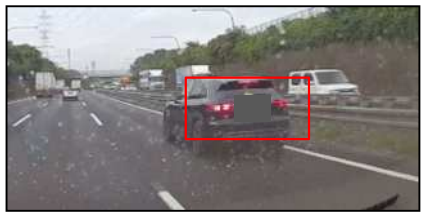
2. 追越車線のブレーキ（高速道路）

▌もし、後続車がブレーキを見落としていたら･･･

右の写真では、追越車線を巡航走行していた黒色車両は、後続車が迫ってきたその瞬間に、突然、ブレーキを踏み減速しました。
もし、後続車がブレーキを見落していたら追突事故を招き、周囲のクルマを巻き込んだ重大事故が発生していたかもしれません。

▌リスクテイキング行動

後続車は、黒色車両のリスクテイキング行動をきっかけとして、車間を詰めて追いかけるという新たなリスクテイキング行動に及びました。
このようなリスクテイキング行動の連鎖は、非常に危険であり、当初の状況より、重大事故のリスクが更に高まっていることが分かります。


①必要のないブレーキ

②後続車がブレーキ

③車間距離不保持の状態で追走

3. 危険回避行動（危険な運転行動に遭遇したら）

◎ 自己コントロール
クラクションを鳴らす、パッシングするなど抗議の意志を表したくなっても、最悪の事態を想定して、自制することが重要です。日頃から、自制方法を自分なりに決めておきましょう。
（例）相手車に、カッとした時は、深呼吸し、最愛の家族の顔を思い浮かべる。

◎ 積極的な啓発
もし、職場や知人など、周囲にそのような運転者がいたら、やめるよう丁寧に呼び掛けましょう。

◎ 警察に通報
危険な状況に巻き込まれたら、迷わず警察に通報しましょう。

※警察庁HP：「危険！あおり運転等はやめましょう」https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/aori.html(2019.9.17閲覧)

SOMPO ホールディングス

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
ホームページ http://www.sjnk.co.jp

SOMPOリスクマネジメント株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1
ホームページ https://www.sompo-rc.co.jp

お問い合わせ先
帝人エージェンシー株式会社 保険部
〒550-8587
大阪市西区土佐堀１－３－７
肥後橋シミズビル１６階
TEL 06-6459-5100 FAX 06-6459-6045
E-mail hoken@teijin.co.jp